



帳票 DX モバイルエントリー カスタムレイアウト作成ガイド kintone 版

Ver.1.2

改訂履歴

Ver.	改訂日	改訂内容
1.0	2019/12/09	新規発行
1.1	2023/05/11	表紙のタイトルを「AppsME」から「帳票 DX モバイルエントリー」に変更。
1.2	2024/02/15	「AppsME」の記載を「帳票 DX モバイルエントリー」に変更

本書に記載されている会社名、製品名、サービス名などは、提供各社の商標、登録商標、商品名です。
なお、本文中に TM マーク、©マークは明記していません。

本書の使い方

※ 「AppsME」は 2023 年 2 月をもちまして「帳票 DX モバイルエントリー」に名称を変更いたしました。

本書は株式会社オプロが提供する「帳票 DX モバイルエントリー」のカスタムレイアウト作成ガイド（kintone 版）です。

本書をご利用いただくことで、モバイル端末の帳票 DX モバイルエントリーで kintone のレコードを表示する際のレイアウトをカスタマイズすることができるようになることを目的としています。

本書の表記

本書では、以下の表記で記載しています。

表記方法	内容
注意	操作上の注意事項について記載しています。
Point	操作するうえで知っていると便利なポイントについて記載しています。
参照	本書における参照先を記載しています。
[]	ボタン名やタブ名、キーボードのキーなどの表記で使用します。
「 」	システム名、メニュー名、画面名、項目名、参照先などの表記で使用します。

目次

1. はじめに	5
2. 全体の流れ	7
3. OPROARTS の設定	8
3.1 OPROARTS Connector for kintone のインストール	8
3.2 「LAD」レコードの登録	10
4. カスタムレイアウトの設定	11
4.1 帳票 DXME デザイナー設定	11
4.2 帳票 DXME アプリ設定	12
4.3 カスタムレイアウトの作成	15
4.4 カスタムレイアウトのデザイン	17
4.4.1 デザイナー画面の各機能説明	17
4.4.2 実際にデザインする	21
4.5 カスタムレイアウトの配備	27
5. モバイル端末での設定	28
5.1 作成したカスタムレイアウトを反映する	28
5.2 カスタムレイアウトを解除する.....	30

1. はじめに

ここでは帳票 DX モバイルエントリーの「カスタムレイアウト」機能がどのようなものか説明します。

帳票 DX モバイルエントリーでは kintone に登録されているレコードをモバイル端末上で閲覧・編集することができます。

デフォルトの設定ではレコードの詳細画面は以下のような標準レイアウトですが、このレイアウトをカスタマイズすることでより現場で使用しやすいものに変えることができます。

< レコード詳細 >

レコード情報

案件名	案件C
合計金額	200,000
受注予定日	2024/2/13
取引先名	株式会社オプロ
確度	80



レイアウトは OPROARTS の専用のデザイナーを用いて作成します。

[\[参照\] 4. カスタムレイアウトの設定](#)

Live For 帳票DXモバイルエントリー

ファイル 編集 表示

コンポーネント 操作

入力項目

- abc: 案件名
- abc: 合計金額
- abc: 受注予定日
- abc: 取引先名
- abc: 確度

レイアウト

金額 受注予定

取引先名

現在の受注確度

Layout

全般

名前 DXME_anken

グリッド 無 10 20

グリッドスナップ

デバイスの論理解像度 限定しない

幅 高さ

レイアウトを作成後、モバイル端末の帳票 DX モバイルエントリーアプリでレイアウトを同期することで
詳細画面のレイアウトが作成したものと同一ものになります。

[参照] 5. モバイル端末での設定

レコード詳細 

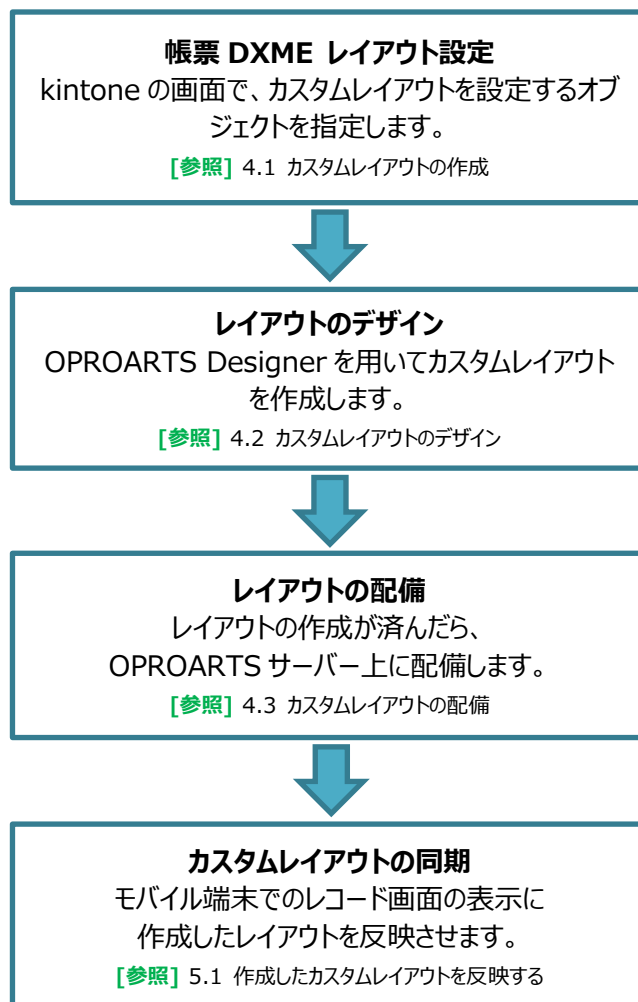
レコード情報

案件C		
金額 200,000	2024/2/13	受注予定
取引先名	株式会社オプロ	
現在の受注確度	80	

2. 全体の流れ

カスタムレイアウトを作成して、帳票 DX モバイルエントリーのレコード画面に反映するまでの流れを説明します。



3. OPROARTS の設定

カスタムレイアウトを作成するためには OPROARTS の機能を使用する必要があります。
OPROARTS Connector for kintone をインストールし、「LAD」レコードを登録します。

3.1 OPROARTS Connector for kintone のインストール

オプロのサポートサイトより OPROARTS Connector for kintone のアプリテンプレートを入手し、そちらを基にアプリを作成します。

1. 次の URL にアクセスし、[OPROARTS Connector for kintone] ボタンをクリックします。
<https://spc.opro.net/hc/ja/articles/115003597634>

OPROARTS Connector for kintoneのダウンロード

システム管理者
2か月前 · 更新

フォローする

OPROARTS Connector for kintoneのパッケージは、下記からダウンロードいただけます。

【OPROARTS Connector for kintoneとは】
OPROARTSと連携して、kintoneからの帳票出力を実現するkintoneアプリです。OPROARTS Liveで作成した帳票テンプレートとkintone上のデータとのマッピング、帳票出力ボタンの作成までをユーザー自身が簡単に行うことができます。

[OPROARTS Connector for kintone](#)

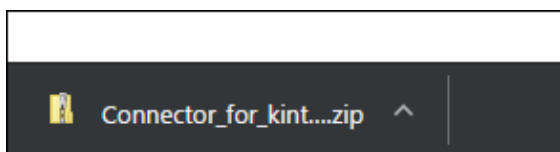
【OPROARTS Connector for kintone プラグイン】
OPROARTS Connector for kintone で帳票出力を行うアプリにプラグインとしてご登録頂くことで、カスタムボタンの出力設定を行うことができます。

OPROARTS Connector for kintone プラグイン

Point

リンク先が表示されない場合は、サポートサイトで「Connector for kintone のダウンロード」を検索してください。

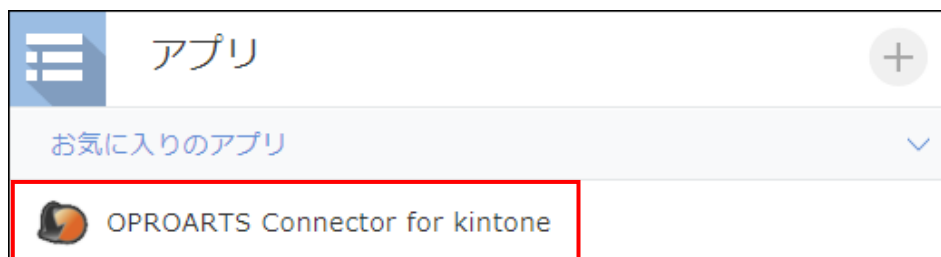
2. クリックすると、ZIP ファイルが保存されます。



3. kintone にログインし、ポータル画面の「アプリ」で+ボタンをクリック、「テンプレートファイルを読み込んで作成」で保存した ZIP ファイルを選択したら、[アプリを作成]をクリックします。



4. OPROARTS Connector for kintone アプリが作成されます。



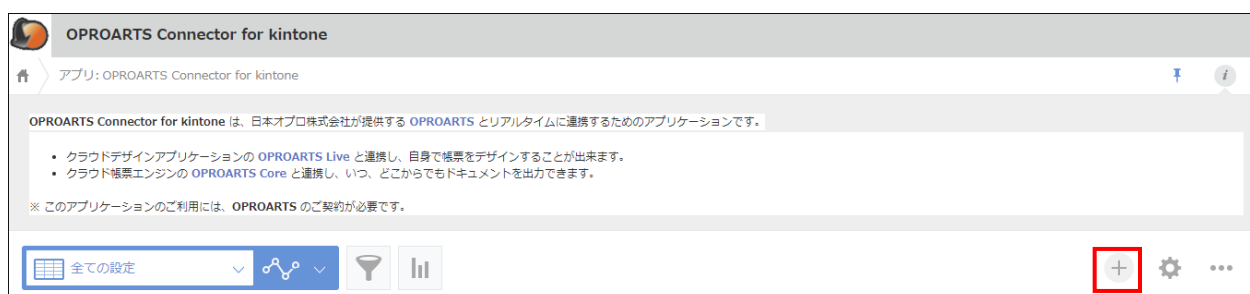
3.2 「LAD」レコードの登録

カスタムレイアウトを作成するためには、OPROARTS のライセンス「LAD」が必要です。
そのため、インストールした「OPROARTS Connector」アプリで「LAD」レコードを作成し、カスタムレイアウトを作成するユーザーを割り当てます。

1. アプリ一覧で「OPROARTS Connector for kintone」をクリックします。



2. [+]ボタンをクリックします。



3. 「OPROARTS」に「LAD」を選択、オプロから送付された「AppsME Designer 用」の CID、UID、UPW を入力し、「ユーザ」にカスタムレイアウトを作成するユーザーを選択したら「保存」をクリックします。

A screenshot of the 'OPROARTS 認証情報' (OPROARTS Authentication Information) form. At the top, there are two buttons: 'キャンセル' (Cancel) and '保存' (Save). The '保存' button is highlighted with a red rectangular box. Below the buttons, there is a section titled 'OPROARTS 認証情報' with a sub-header 'OPROARTSのライセンスタイプとOPROARTSアカウント (CID) を指定します。'. Under this section, there are two bullet points: 'LA: 文書生成のOPROARTSライセンスタイプ' and 'LAD: Designer利用のOPROARTSライセンスタイプ'. Below the bullet points, there are two input fields: 'OPROARTS *' with a dropdown menu showing 'LAD' and 'CID *' with a text input field containing 'Sample_CID'. Below these fields, there is a paragraph: 'kintoneユーザーにOPROARTSのアカウント (UID,UPW) を設定します。設定されたkintoneユーザーは、ライセンスタイプに応じたOPROARTSの機能をご利用いただけます。'. Below the paragraph, there is a table with three columns: 'ユーザ *', 'UID *', and 'UPW *'. The 'ユーザ *' column has a dropdown menu showing '山田 桃太郎'. The 'UID *' column has a text input field containing 'Sample_UID'. The 'UPW *' column has a text input field containing 'Sample_UPW'. The entire form area is highlighted with a red rectangular box.

以上の設定が終われば、設定したユーザーでカスタムレイアウトの作成が可能になります。

4. カスタムレイアウトの設定

帳票 DX モバイルエントリーでレコードの表示をカスタマイズしたいオブジェクトに、カスタムレイアウトを設定します。

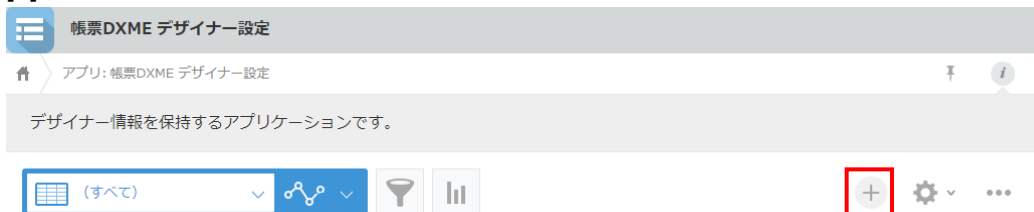
4.1 帳票 DXME デザイナー設定

カスタムレイアウトの取得とデザイン画面の URL を指定しアクセスできるようにします。

1. kintone にログインし、アプリ一覧で「帳票 DXME デザイナー設定」を選択します。



2. [+]ボタンをクリックします。



3. デフォルトの URL 値が既に入力されているので、そのまま[保存]をクリックします。

A screenshot of the '帳票DXME デザイナー設定' (Invoice DXME Designer Settings) app configuration page. The top bar shows the app name and a hamburger menu icon. Below it, there's a breadcrumb trail 'アプリ: 帳票DXME デザイナー設定'. The main content area has a header 'デザイナー情報を保持するアプリケーションです。' (This is an application that stores designer information.). Below the header, there are two buttons: 'キャンセル' (Cancel) and '保存' (Save). The '保存' button is highlighted with a red rectangular box. Below the buttons, there are two text input fields. The first field is labeled 'デザイナーURL *' and contains the URL 'https://designer.oproarts.com/OPROARTSConsole/appsMEAuthentication4K.do'. Below the field, there's a note '0文字以上255文字以下'. The second field is labeled 'カスタムレイアウト取得URL *' and contains the URL 'https://designer.oproarts.com/OPROARTSConsole/getDeployedCustomLayout.do'. Below the field, there's a note '0文字以上255文字以下'.

以上で帳票 DXME デザイナー設定は完了です。

4.2 帳票 DXME アプリ設定

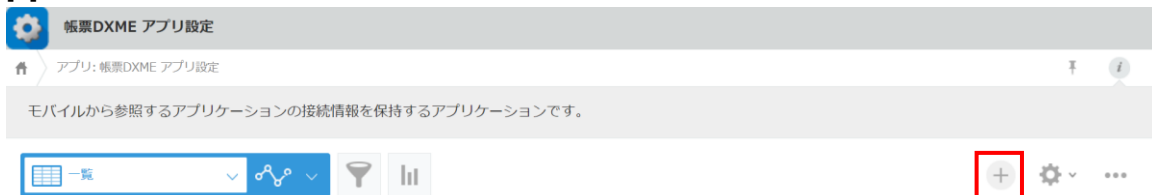
「帳票 DXME アプリ設定」アプリに「帳票 DXME デザイナー設定」アプリと「OPROARTS Connector for kintone」アプリを割り当てます。

まず、「帳票 DXME デザイナー設定」アプリを割り当てます。

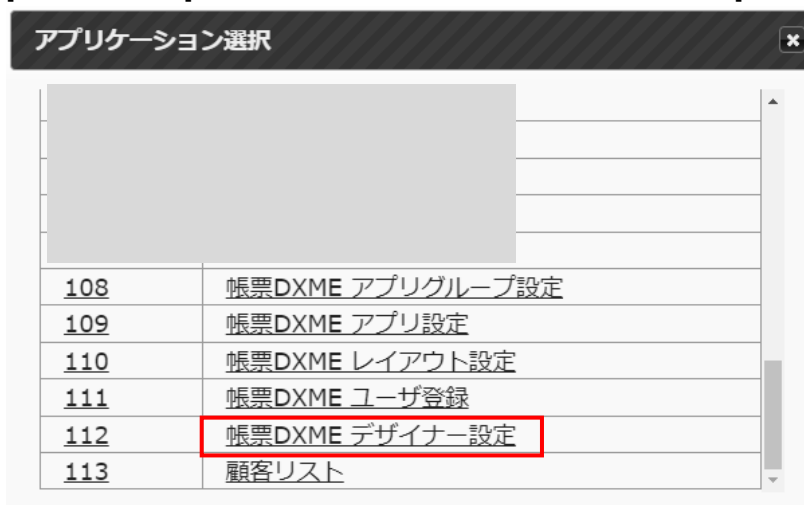
1. アプリ一覧で「帳票 DXME アプリ設定」をクリックします。



2. [+]ボタンをクリックします。



3. [アプリ情報取得]ボタンをクリックし、表示されるポップアップ画面内で「帳票 DXME デザイナー設定」をクリックします。



4. 「アプリ種別」で「デザイナー設定」にチェックを入れ、[保存]をクリックします。

キャンセル 保存

操作手順

1. 「アプリ情報取得」ボタンを押下して設定するアプリケーションを選択します。
2. 該当のアプリケーションのアプリ識別を設定します。

アプリ情報取得

アプリID * アプリ名 *

112 帳票DXME デザイナー設定

アプリ識別 *

アプリ識別は下記に基づいて設定してください。

- 通常アプリ
モバイルアプリで使用するアプリケーションです。
- グループ設定
モバイルアプリで使用するアプリケーションのグループ情報を保持するアプリケーションです。
- レイアウト設定
レイアウト情報を保持するアプリケーションです。
- ユーザー情報

通常アプリ

グループ設定

レイアウト設定

ユーザー情報

デザイナー設定

Connector設定

次に、「OPROARTS Connector for kintone」アプリを割り当てます。

1. [+]ボタンをクリックします。

AppsME_アプリ設定

アプリ: AppsME_アプリ設定

モバイルから参照するアプリケーションの接続情報を保持するアプリケーションです。

一覧

+ 設定 ...

2. [アプリ情報取得]ボタンをクリックし、表示されるポップアップ画面内で[OPROARTS Connector for kintone]をクリックします。

アプリケーション選択

94	OPROARTS Connector for kintone

3. 「アプリ種別」で「Connector 設定」にチェックを入れ、[保存]をクリックします。

キャンセル **保存**

操作手順

1. 「アプリ情報取得」ボタンを押下して設定するアプリケーションを選択します。
2. 該当のアプリケーションのアプリ識別を設定します。

アプリ情報取得

アプリID * アプリ名 *

94 OPROARTS Connector for kintone

アプリ識別 *

アプリ識別は下記に基づいて設定してください。

- 通常アプリ
- グループ設定
- レイアウト設定
- ユーザ情報
- デザイナー設定
- Connector設定**

- **通常アプリ**
モバイルアプリで使用するアプリケーションです。
- **グループ設定**
モバイルアプリで使用するアプリケーションのグループ情報を保持するアプリケーションです。
- **レイアウト設定**
レイアウト情報を保持するアプリケーションです。
- **ユーザ情報**

4.3 カスタムレイアウトの作成

モバイル端末で表示するアプリコードの詳細画面・編集画面をカスタマイズするための設定をします。

1. アプリ一覧で「帳票 DXME アプリ設定」をクリックします。

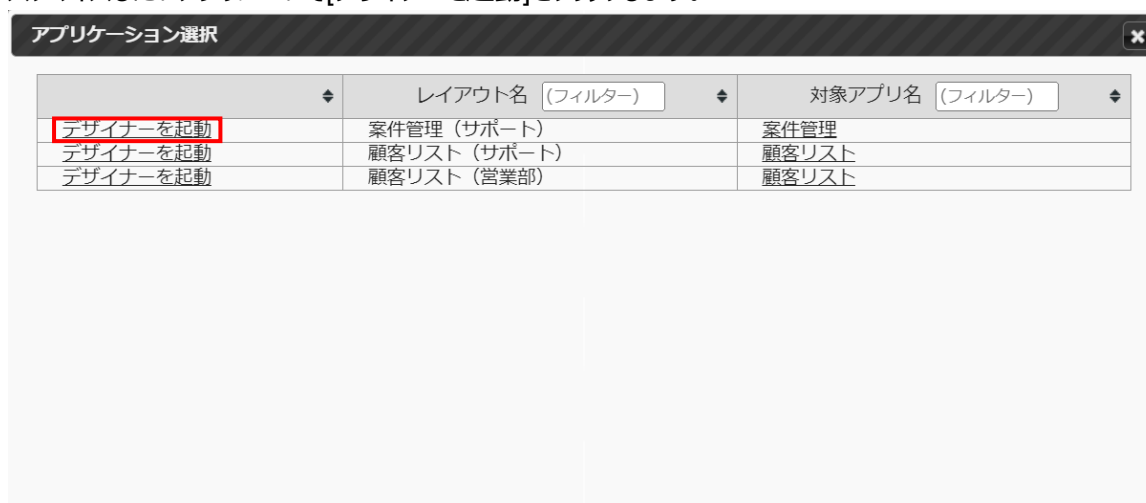


2. [カスタムレイアウト 作成/変更]ボタンをクリックします。

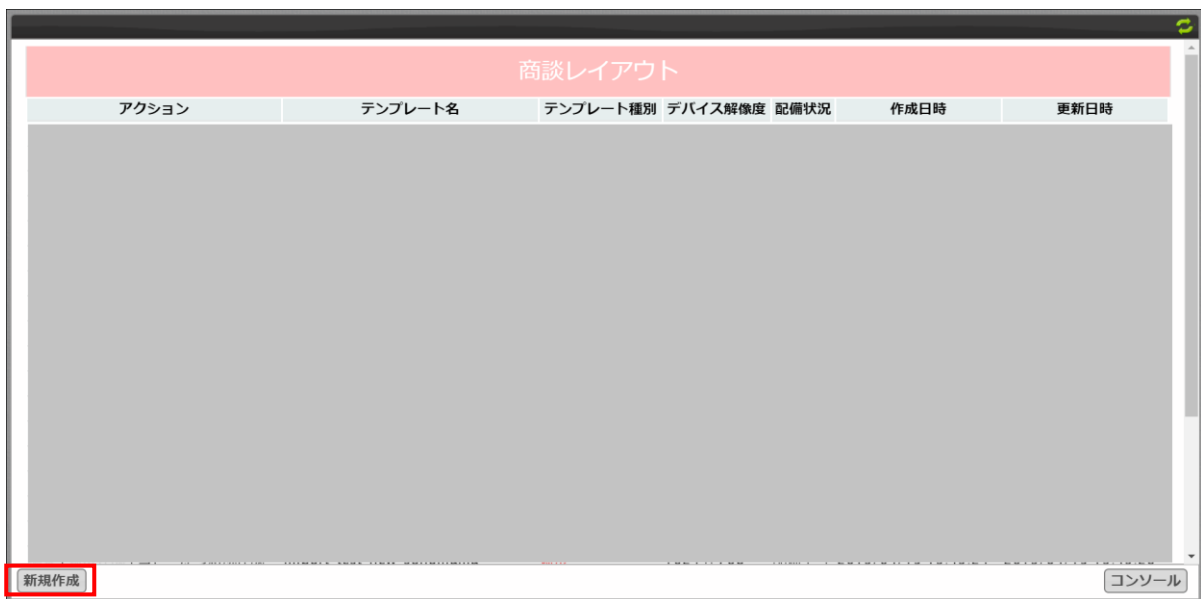


注意 これまでの設定を行うことにより、[カスタムレイアウト作成/変更]ボタンが表示されるようになります。

3. 「帳票 DXME レイアウト設定」に登録されているアプリの一覧が表示されるので、モバイル端末での表示レイアウトをカスタマイズしたいアプリについて[デザイナーを起動]をクリックします。



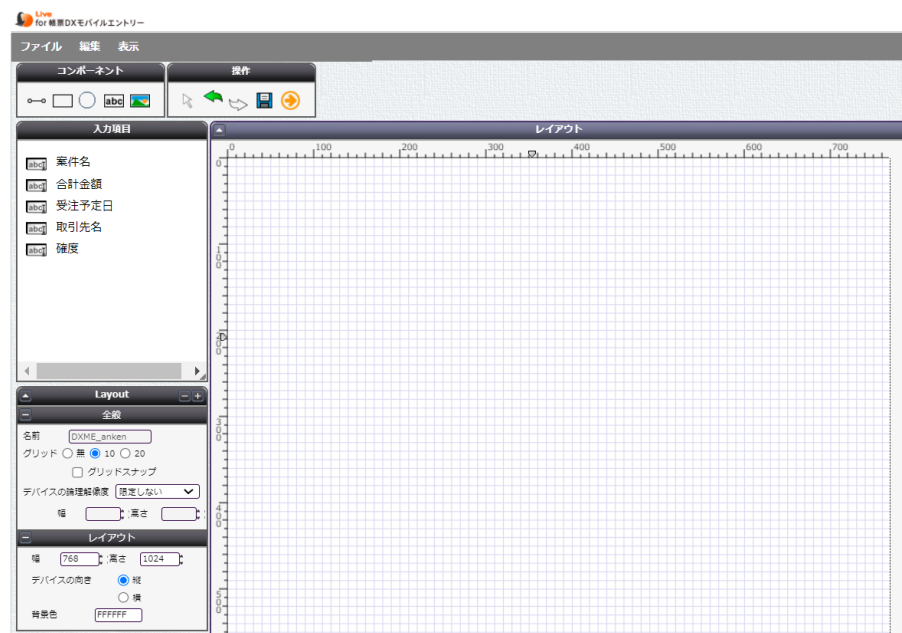
4. カスタムレイアウト一覧画面が開きます。画面左下の[新規作成]をクリックします。



5. カスタムレイアウトの名前(ここでは「テンプレート名」として表示されています)を入力し、[作成]をクリックします。

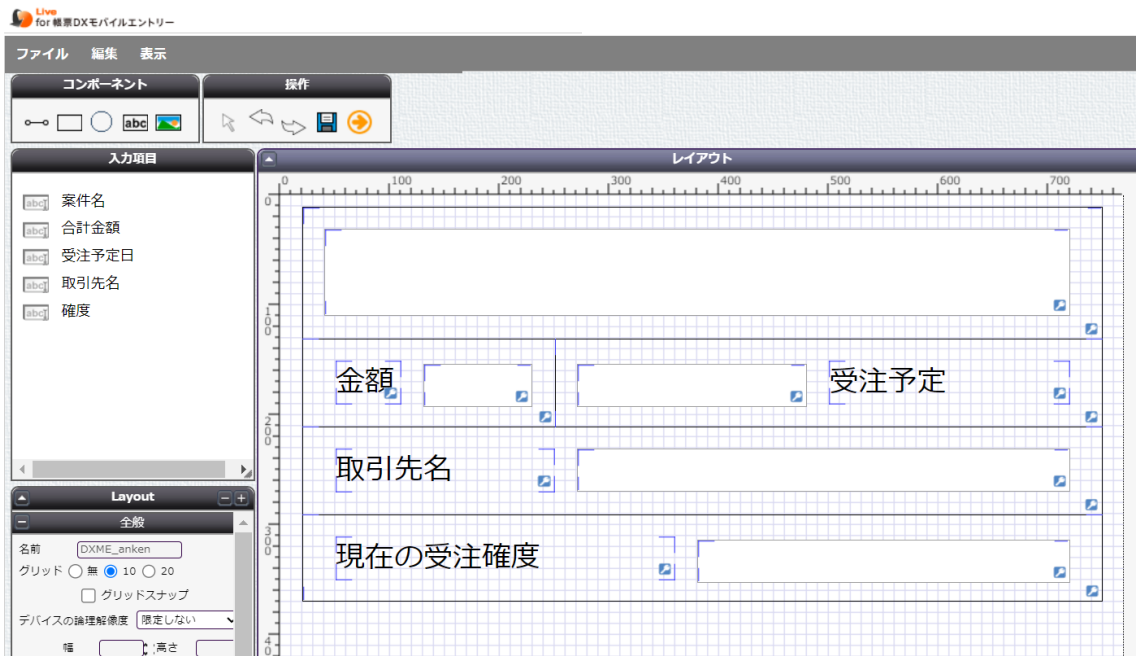


6. カスタムレイアウトのデザイナー画面が開きます。この画面でカスタムレイアウトをデザインしていきます。



4.4 カスタムレイアウトのデザイン

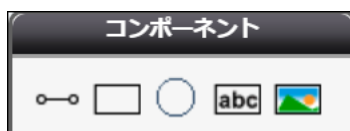
デザイナー画面を開いたら、モバイル端末で表示したいレイアウトをデザインします。
本マニュアルでは以下のデザインを完成形として、作成していきます。



4.4.1 デザイナー画面の各機能説明

ここではデザイナー画面でのレイアウト作成にあたって使用する各機能を紹介します。

■ コンポーネント



- ① ② ③ ④ ⑤

- ① 線を表示できます。
- ② 四角の図形を表示できます。
- ③ 丸の図形を表示できます。
- ④ 固定文字列を入力して表示できます。
- ⑤ 画像を表示することができます。

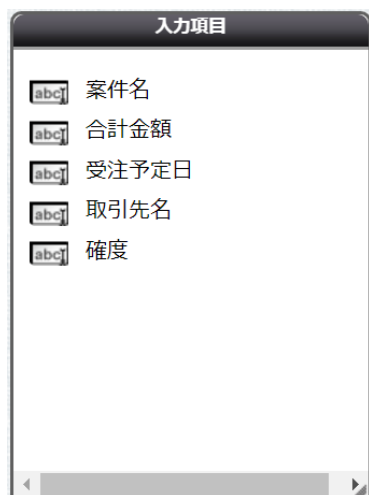
■ 操作



① ② ③ ④ ⑤

- ①ポインターに切り替えます。
- ②1つ前の状態に戻ります。(Undo)
- ③1つ後の状態に進みます。(Redo)
- ④レイアウトを保存します。
- ⑤レイアウトを配備するためのボタンです。

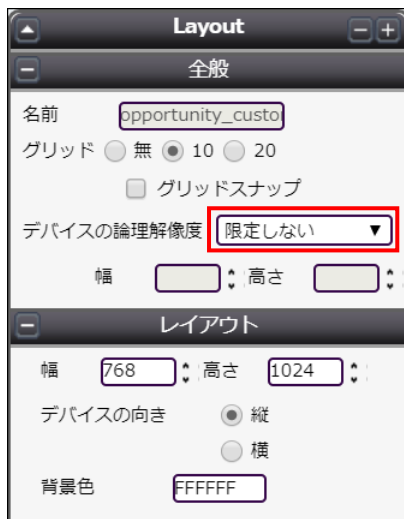
■ 入力項目



ここには「帳票 DXME レイアウト設定」で選択した項目が表示されます。

項目をレイアウトに配置することでモバイル端末の画面上でそれらの項目について閲覧・編集ができるようになります。

■ レイアウト



レイアウトに関するプロパティです。配置したコンポーネントを何も選択していないときに表示されます。

「デバイスの論理解像度」で使用するデバイスを選択したら、モバイル端末に表示される高さと同幅とは別に、「レイアウト」で実際のレイアウトのサイズを指定します。

Point

デバイスの論理解像度について

デバイスの論理解像度では、カスタムレイアウトを表示したいモバイル端末の論理解像度を指定します。

「iPad Pro」、「iPad mini / iPad Air」、「iPhone SE / iPhone 5」、「その他」(幅と高さを自分で入力します)、「限定しない」から選択可能です。

※実際にカスタムレイアウトを利用するデバイスと論理解像度の設定が合わない場合、カスタムレイアウトは反映されませんのでご注意ください。

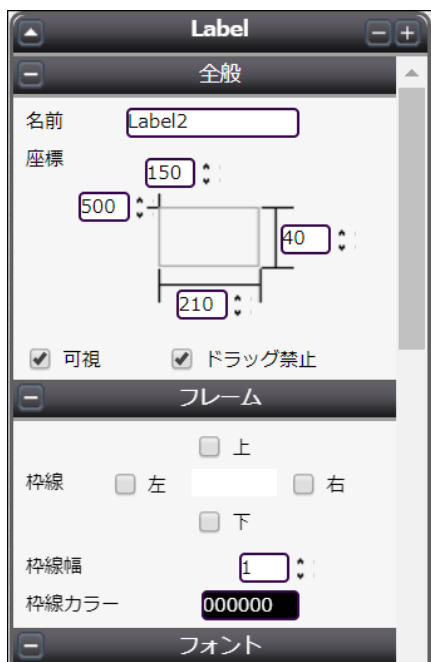
また、「限定しない」を選択することであらゆるデバイスに対応するカスタムレイアウトにすることが可能です。

使用するデバイスが特に決まっていない場合はこちらをご選択ください。



「レイアウト」で指定したサイズがデバイスのサイズよりも大きい場合は、モバイル端末の画面でレイアウト全体を一度に見渡すことはできず、画面に収まる範囲のみをスクロールしながら見ることになります。

■ プロパティ

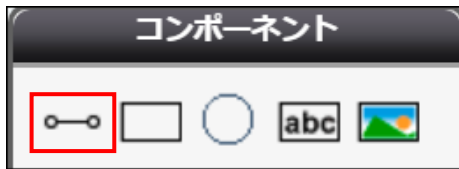


配置した各コンポーネントを選択した際に画面左側に表示され、コンポーネントの表示を設定します。
表示される内容は、選択したコンポーネントの種類によって変わります。

4.4.2 実際にデザインする

具体的な操作方法をイメージすべく、本章初めに記載のデザインを作成する手順を説明します。

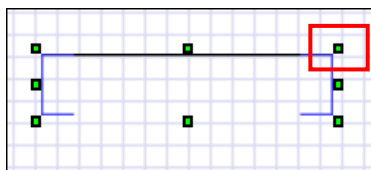
1. まずは罫線を引きます。コンポーネントから Line コンポーネント(4.1.1 の①)を選択し、デザイン領域の配置したいポイントをクリックすることで罫線が配置できます。



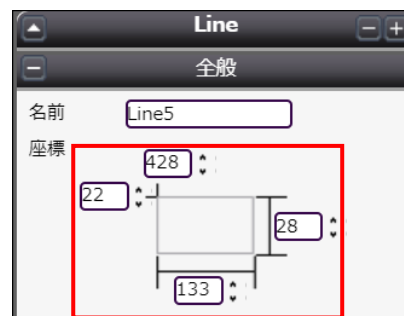
罫線の向きを左側の「向き」で指定します。



配置したら、四隅の緑印をドラッグ&ドロップするか、左のプロパティエリアで数値を指定することで長さを調節します。



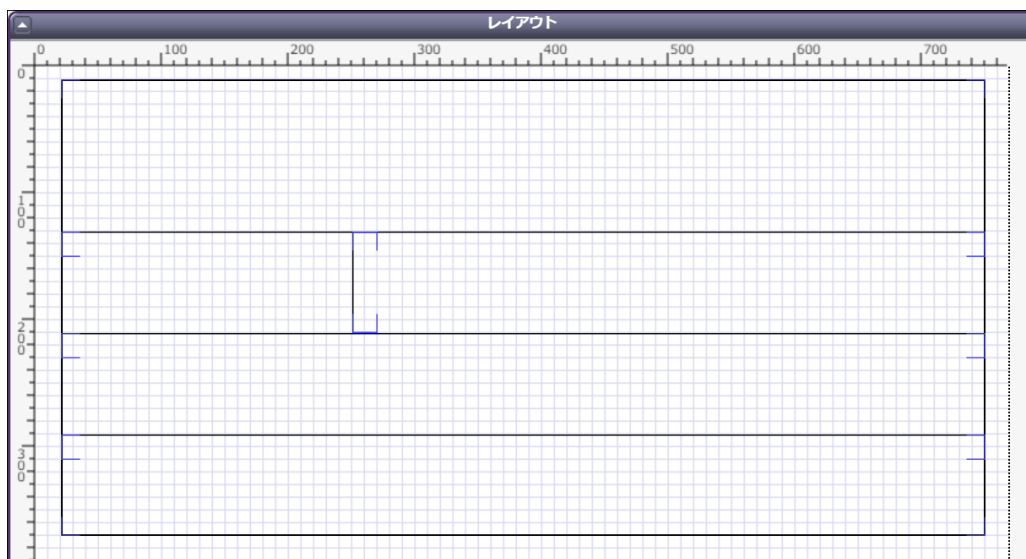
または



また、罫線には Rectangle コンポーネント(4.1.1 の②)も使用できます。

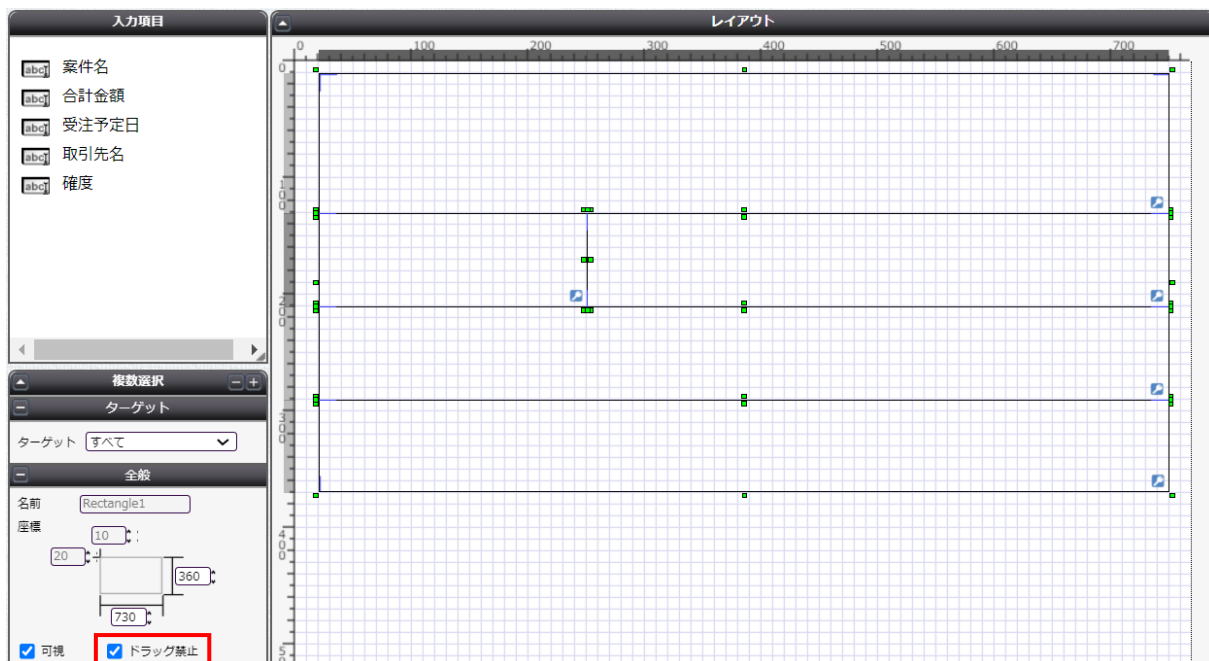


以上の作業を繰り返して、このような見た目に仕上げます。

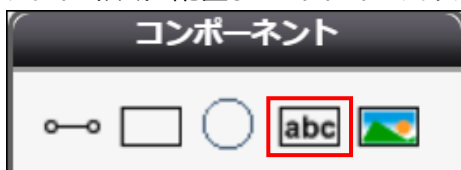


2. 配置場所が決まったら、誤ってマウスでドラッグしてしまわないように「ドラッグ禁止」にチェックを入れます。

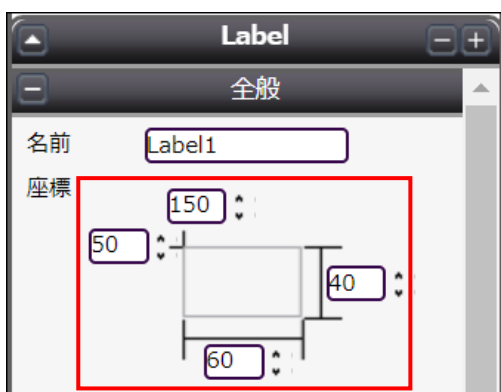
Point Ctrl キーを押しながらコンポーネントを選択する or ドラッグ&ドロップで範囲選択することで複数のコンポーネントを選択でき、複数選択した状態で「ドラッグ禁止」にチェックを入れることで複数のコンポーネントについて一度にドラッグを禁止することができます。



3. 次に固定で表示したい文言(静的項目)を配置します。コンポーネントから Label コンポーネント(4.1.1 の④)を選択し、デザイン領域の配置したいポイントをクリックすることで固定文字列が配置できます。



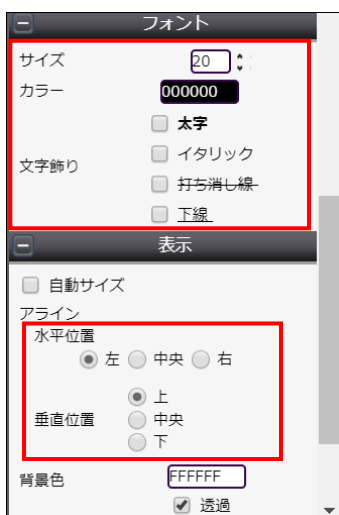
罫線と同様、配置場所と高さ・幅を指定します。



配置したラベルをダブルクリックすると、表示される文字列を指定するポップアップが表示されるので、表示したい文言を入力して[OK]をクリックします。



フォント・文字のサイズについては「フォント」で、文字列をラベルのどの位置に表示させるかについては「表示」で設定します。



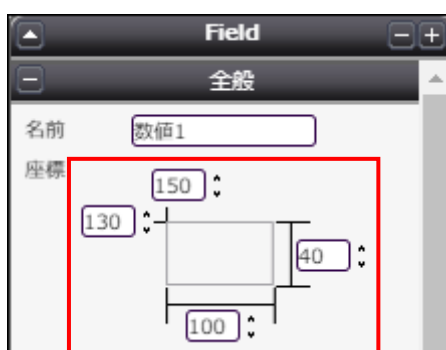
以上の作業を繰り返して、このような見た目に仕上げます。



4. 次に、案件情報アプリの項目の値を表示したい場所に各項目のラベル(動的項目)を設置します。
各項目について、左の項目リストでラベルをクリックし、続いてデザイン領域の配置したいポイントををクリックすることで動的項目を配置できます。



静的項目と同様、配置場所と高さ・幅を指定します。



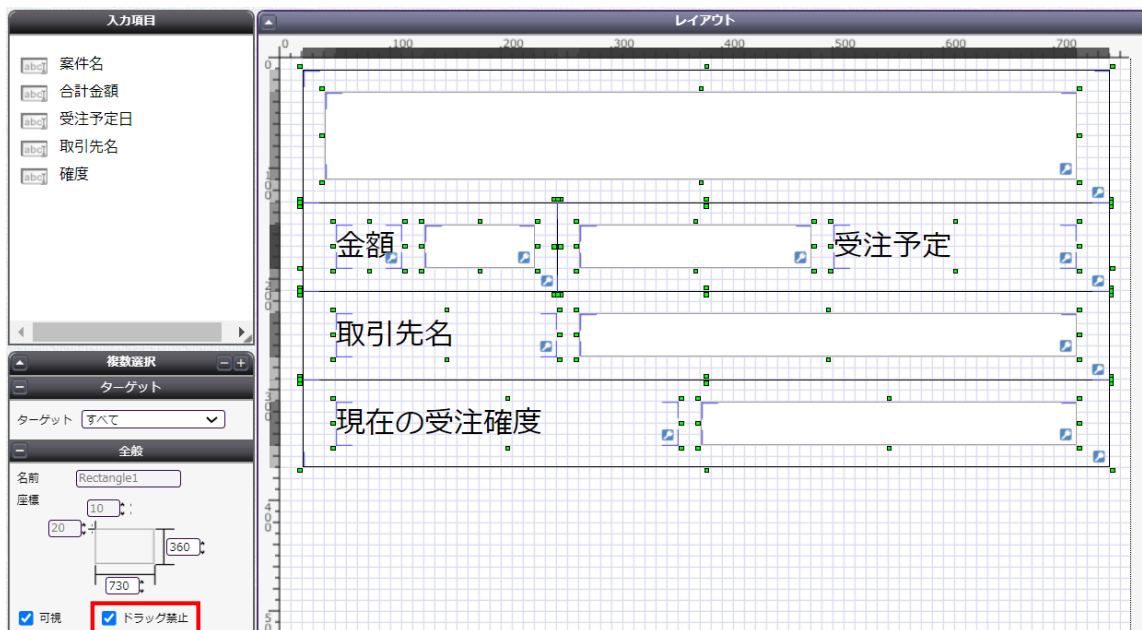
フォント・文字のサイズについて「フォント」で、文字列をラベルのどの位置に表示させるかについて「表示」で設定します。



以上の作業を繰り返して、このような見た目に仕上げます。



5. 静的項目・動的項目についても、罫線同様にドラッグ禁止の設定をします。



6. デザインが完了したら、左上の保存ボタンをクリックします。



4.5 カスタムレイアウトの配備

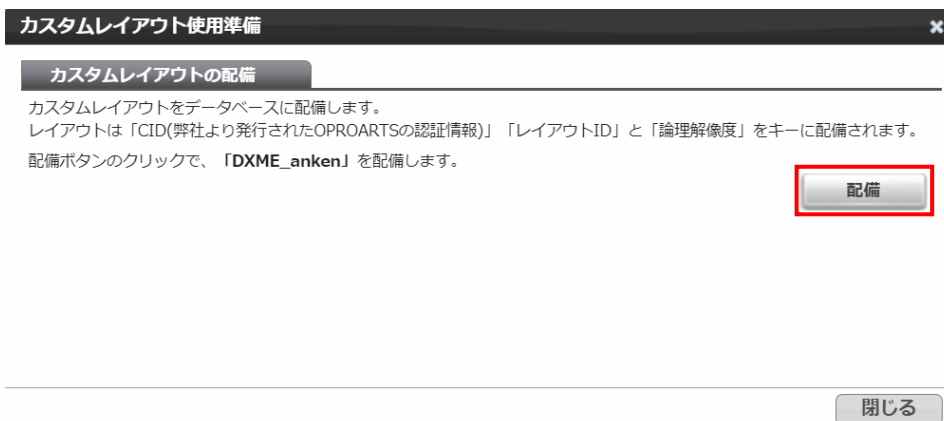
作成したカスタムレイアウトは、OPROARTS サーバー上に配備し、その情報をモバイル端末に同期することでレコードの表示に反映されます。

まずはカスタムレイアウトを配備します。

1. デザインの作成が完了したデザイナー画面で、左上の矢印ボタンをクリックします。



2. ダイアログボックスが表示されるので、[配備]をクリックします。



以上の手順で、作成したカスタムレイアウトが OPROARTS サーバーに配備されました。

5. モバイル端末での設定

配備したカスタムレイアウトを AppsME での表示に反映させるための設定をします。

5.1 作成したカスタムレイアウトを反映する

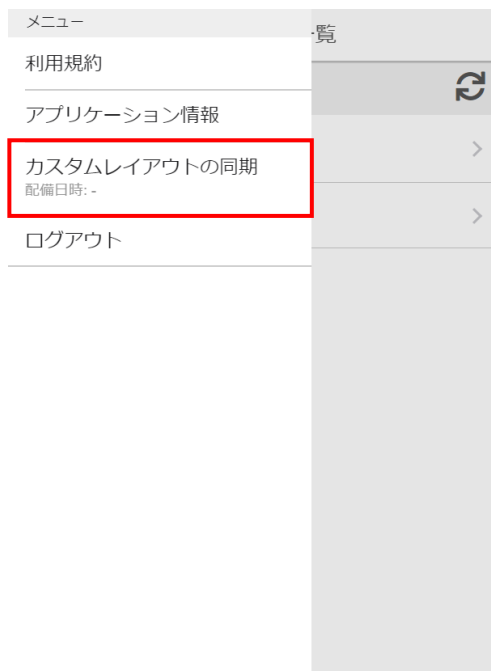
1. モバイル端末で帳票 DX モバイルエントリーを開き、kintone にログインします。



2. 画面左上のメニューボタンをタップします。



3. [カスタムレイアウトの同期]をタップすれば、案件管理レコードの詳細画面が作成したレイアウトで表示されるようになります。



4. 実際の表示はこのようになります。



5.2 カスタムレイアウトを解除する

カスタムレイアウトを解除して再度標準のレイアウトで詳細画面を表示したい場合の手順を説明します。

1. 「OPROARTS Connector for kintone」アプリの「LAD」レコードを開いたページで、[スタート]をクリックします。

OPROARTS認証情報
OPROARTSのライセンスタイプとOPROARTSアカウント（CID）を指定します。

- LA: 文書生成のOPROARTSライセンスタイプ
- LAD: Designer利用のOPROARTSライセンスタイプ

OPROARTS CID

LAD []

kintoneユーザにOPROARTSのアカウント（UID,UPW）を設定します。
設定されたkintoneユーザは、ライセンスタイプに応じたOPROARTSの機能をご利用いただけます。

ユーザ	UID	UPW
[]	[]	[]

OPROARTSデザイナー
スタートボタンのクリックでOPROARTS Designerを開始します。

スタート

2. 開いた OPROART Designer で、作成したカスタムレイアウトを選択します。

📁 ドキュメントテンプレート

<input type="checkbox"/>	名前	anzen	配備状況	公開/共有	作成日時	(フィルタ)	更新日時	(フィルタ)
<input checked="" type="checkbox"/>	ME	DXME_anken	配備済み	公開中	2024/02/15 13:31:32		2024/02/15 14:01:56	

3. [配備解除]ボタンをクリックします。

名前	DXME_anken
タイプ	ME Live for 帳票DXモバイルエントリー
作成日時	2024/02/15 13:31:32
更新日時	2024/02/15 14:01:56
配備状況	配備済み 配備解除
メモ	<input type="text"/> <input type="button" value="保存"/>

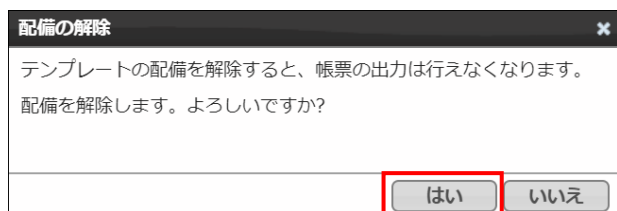
🔍 🔍

金額

取引先名

現在の受注権限

4. [はい]をクリックします。



5. モバイル端末で[カスタムレイアウトの同期]をタップすることで、カスタムレイアウトが詳細画面の表示に反映されなくなります。



6. 実際の表示はこのようになります。



帳票 DX モバイルエントリー
カスタムレイアウト作成ガイド
kintone 版

発行元 株式会社オプロ